

科目名	キャリア開発論						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	木原 麻子, 谷口 キヨコ						

授業概要／Course outline

本授業では、スーパー、ホランド、クルンボルツといったキャリアに関連する代表的な理論を紹介しながら、自律的な人生設計の在りようについて論ずる。従来の主に職業生活面（「ワークキャリア」）に注目したキャリア理論のみならず、近年主流になってきた、人生の生き方全体を「ライフキャリア」として捉える考え方やその実践方法の理解を通じて、生活全体の質を高める生き方を考察する。授業では、アクティブラーニングの手法も用いながら、家族や地域社会、健康・福祉など多角的な視点で人生を考察するための知識・技能を身につける。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・実務経験のある教員による授業

行政および民間企業での勤務経験ののち、キャリアコンサルタントとして主に学生を対象としたキャリア開発に従事してきた教員が、その経験を活かしてキャリア開発に関わる理論の解説とその実践的应用について講義する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：授業概要とイントロダクション

授業のテーマと概要および授業内容・授業計画を説明し、事前・事後学習の方法、教材、到達目標、身に付く力、履修上の注意等シラバスの諸項目を確認する。あわせて評価方法についても詳しく説明する。

第2回 テーマ：自律的なキャリア開発

自律的なキャリアとは何かについて解説し、キャリア開発の主体の変化や自律的なキャリア開発が持つ意味について検討する。また、受講生自身の価値観について整理する。

第3回 テーマ：発達課題、パーソナリティ 価値観

自己理解や自立、青年期の発達課題、パーソナリティについて検討する。

第4回 テーマ：キャリアに関する諸理論（１）－スーパー

ドナルド・Ｅ・スーパーの発達理論をテーマに、職業的自己概念やライフステージについて解説する。

第5回 テーマ：キャリアに関する諸理論（２）－ホランド

ジョン・Ｌ・ホランドのキャリア選択理論をテーマに、個人のパーソナリティと職業興味などについて解説する。

第6回 テーマ：振り返りと中間レポート

第1回から第5回までの内容について振り返るとともに、受講生自身の将来キャリアを考えるためのレポートを作成し、発表する。

第7回 テーマ：キャリアに関する諸理論（３）－シャイン

エドガー・Ｈ・シャインの組織内キャリア発達理論をテーマに、外的キャリアと内的キャリア、組織におけるキャリア開発やキャリアアンカー概念について解説する。

第8回 テーマ：キャリアに関する理論の応用（１）

第7回で取り上げたシャインの理論をもとに、実際に社会で仕事をしてこられた方たちへのインタビューを通じて、理解を深める。

第9回 テーマ：キャリアに関する諸理論（４）－クルンボルツ／シュロスバーグ

ジョン・Ｄ・クルンボルツおよびナンシー・Ｋ・シュロスバーグの理論をテーマに、キャリアにおける偶然や転機の影響について考察する。

第10回 テーマ：キャリアに関する理論の応用（２）

第9回で取り上げたクルンボルツおよびシュロスバーグの理論をもとに、実際に社会で仕事をしてこられた方

ちへのインタビューを通じて、理解を深める。

第11回 テーマ：自律的なキャリア開発に向けての課題（1）

個人のキャリア志向の多様性に着目し、自律的なキャリア開発の実現に向けて何が課題で何が必要となるかについて、個人と社会の両面から検討する。

第12回 テーマ：キャリアに関する諸理論（5）－ハンセン

キャリアにおけるジェンダーについて、また、サニー・ハンセンの統合的ライフプランニング理論をテーマに、個人にとってのキャリアの意味や価値について検討する。

第13回 テーマ：自律的なキャリア開発に向けての課題（2）

個人のキャリア志向の多様性に着目し、自律的なキャリア開発の実現に向けて何が課題で何が必要となるかについて、個人と社会の両面から検討する。

第14回 テーマ：振り返りとテスト

第1回から13回までの内容について講義ポイントを振り返るとともに、テストを実施する。

★オンデマンド テーマ：試験の解説およびまとめ

試験の解説および要点の確認とまとめを行う。臨時試験の翌日に解説動画を配信する。（約90分）視聴期間は配信から2週間とする。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 テーマ：授業概要とイントロダクション

[事前学修] シラバスを十分に読み込んでおくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第2回 テーマ：自律的なキャリア開発

[事前学修] 「キャリア開発」という概念についてWebサイト、書籍等で調べ、200字程度にまとめておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第3回 テーマ：発達課題、パーソナリティ 価値観

[事前学修] 親族など身近な社会人に、前回学習した「キャリア開発」の概念を説明した上で、その方がこれまでに取り組んできたキャリア開発にはどのようなものがあったかについてインタビューしておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第4回 テーマ：キャリアに関する諸理論（1）－スーパー

[事前学修] ドナルド・スーパーについて Webサイト、参考書籍等で調べ、200字程度にまとめておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第5回 テーマ：キャリアに関連する諸理論（2）－ホランド

[事前学修] ジョン・ホランドについて Webサイト、参考書籍等で調べ、200字程度にまとめておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第6回 テーマ：振り返りと中間レポート

[事前学修] 第1回から5回までの授業の内容を復習しておくこと。

[事後学修] 中間レポートの要点をまとめておくこと。

第7回 テーマ：キャリアに関連する諸理論（3）－シャイン

[事前学修] エドガー・H・シャインについてWebサイト、参考書籍等で調べ、200字程度にまとめておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第8回 テーマ：キャリアに関する理論の応用（1）

[事前学修] 第7回で学習したシャインの理論について復習しておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第9回 テーマ：キャリアに関連する諸理論（4）－クルンボルツ／シュロスバーク

[事前学修] ジョン・D・クルンボルツおよびナンシー・K・シュロスバークについて Webサイト、参考書籍等で調べ、200字程度にまとめておくこと。

[事後学修] 授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第10回 テーマ：キャリアに関する理論の応用（2）

[事前学修]第9回で学習したクルンボルツおよびシュロスバーグの理論について復習しておくこと。

[事後学修]授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第11回 テーマ：自律的なキャリア開発に向けての課題（1）

[事前学修]ライフイベントにはどのようなものがあるかWebサイト、書籍等で調べ、キーワードをまとめておくこと。

[事後学修]授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第12回 テーマ：キャリアに関連する諸理論（6）－ハンセン

[事前学修]サニー・ハンセンについて Webサイト、参考書籍等で調べ、200字程度にまとめておくこと。

[事後学修]授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第13回 テーマ：自律的なキャリア開発に向けての課題（2）

[事前学修]授業内であらかじめ指示したキーワードについて Webサイト、書籍等で調べておくこと。

[事後学修]授業内での説明を復習したのち、大学HPのmoodleにアクセスして小レポートを提出すること。

第14回 テーマ：振り返りとテスト

[事前学修]第1回から13回までの授業の内容を復習しておくこと。

[事後学修]テストで出題された内容を復習しておくこと。

★オンデマンド テーマ：試験の解説およびまとめ

[事前学修]これまでの授業で解説したことおよびmoodleで実施した小テストについて復習しておくこと。

[事後学修]授業内で行った現代社会におけるキャリアについての議論を踏まえ、自分自身のキャリア形成についての方針を描くこと

※事前学修は各授業2時間、事後学修も各事業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・キャリア開発やキャリアに関する諸理論を理解でき、自身の課題に引きつけて考えられるようになること。
- ・メディア等で報じられているキャリアや労働を取り巻く課題を把握し、それらを論理的に分析・評価できるようになること。
- ・自身のキャリア上の課題を明確化、言語化し、それらを他者に伝えること（発信）ができるようになること。
- ・生涯にわたって自身のキャリアを切り開くための基礎知識を身につけること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・思考力
- 専門知識・専門技能
- 【現代社会学部 現代社会学科】
- ・社会学をはじめとする社会科学の応用知識

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・予備知識は必要ないが、授業に積極的に参加する意欲のある学生の履修を希望する。
- ・4～6人のグループに分かれてディスカッションを行う場合があるので積極的に参加すること。
- ・履修予定者は初回授業に必ず出席すること。
- ・理解度の確認のために小テストまたは小レポートを実施する。

評価方法/Evaluation

- ・小レポート（不定期）30%、中間レポート30%、振り返りテスト40%

教材/Text and materials

- ・教科書：なし。随時、講義レジュメを配付する。
- ・参考書：渡辺三枝子編著『新版キャリアの心理学【第2版】』（ナカニシヤ出版, 2018年）
宮城まり子『キャリアカウンセリング』（駿河台出版社, 2014年）
武石恵美子『キャリア開発論』（中央経済社, 2016年）

質問や相談の方法/Instructor contact

- 授業に関する質問や相談は、次のいずれの方法でも対応する。
- ・moodleに記載するメールアドレスへの連絡
 - ・オフィスアワー時の研究室訪問（時間は、初回授業時に連絡する。）